No.３－１

２０２０年度

地方創生の取組概要

説　明　資　料

豊岡市　政策調整部　政策調整課

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

地 方 創 生 の 取 組 概 要　（目 次）

Ⅰ　2020年度 地方創生の戦略体系　5

Ⅱ　2020年度 地方創生事業の手段別予算概要　6

Ⅲ　2020年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要　10

【戦略目的】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている			
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		
	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	
		No.1　豊岡ファンミーティング 【新規】	12
		No.2　Ｉターン推進（移住プロモーション）【継続】	13
		No.3　文化と教育の先端自治体連携 【継続】	15
		重複　（No.23）観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	
	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
		No.4　Uターン推進 【継続】	16
	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
		No.5　Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）【継続】	18
		No.6　定住推進 【拡大】	19
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		
	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
		No.7　IT企業誘致推進 【拡大】	21
		No.8　スマート農業推進 【継続】	23
	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
		No.9　内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）【継続】	24
		No.10　政策アドバイザー設置 【継続】	26
		No.11　新規就農総合支援 【継続】	27
		No.12　豊岡農業スクール 【継続】	28
	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	
		No.13　豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進 【拡大】	29
		重複　（No.8）スマート農業推進	
		重複　（No.27）コウノトリ育むお米ブランド化推進	

	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	
		No.14　多文化共生推進 【拡大】	31
		重複　(No.5) Ｉターン推進(ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス)	
		重複　(No.36)アーティスト・クリエーター移住等促進	
03	いきいきと暮らす女性が増えている		
	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
		No.15　ジェンダーギャップ解消推進 【継続】	33
		No.16　子育て広場管理 【継続】	34
		No.17　ファミリーサポートセンター 【継続】	35
	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
		重複　(No.15)ジェンダーギャップ解消推進	
		重複　(No.16)子育て広場管理	
	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	
		No.18　ワークイノベーション推進 【継続】	38
		No.19　子育て中の女性の就労促進 【継続】	39
		No.20　子育てママの活躍機会促進 【継続】	40
04	豊岡で人々が世界と出会っている		
	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
		No.21　城崎温泉街交通環境改善 【継続】	42
		No.22　但馬空港利用促進 【継続】	44
		No.23　観光事業(メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等) 【継続】	45
		No.24　観光まちづくり推進(専門人材配置) 【継続】	46
		No.25　インバウンド誘客推進 【拡大】	47
		No.26　豊岡演劇祭協同開催 【拡大】	48
	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	
		No.27　コウノトリ育むお米ブランド化推進 【継続】	50
		重複　(No.34)アーティスト・イン・レジデンス	
	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	
		No.28　出石永楽館歌舞伎開催 【継続】	53
		No.29　芸術文化参与の設置 【継続】	54

		No.30　豊岡アートシーズン2020 【継続】	55
		No.31　子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2020参加）【継続】	56
		No.32　城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン2020参加）【継続】	57
		No.33　城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）【継続】	58
		No.34　アーティスト・イン・レジデンス 【継続】	59
		No.35　芸術文化情報発信 【継続】	60
		No.36　アーティスト・クリエーター移住等促進 【継続】	61
		No.37　演劇のまちづくり推進 【新規】	62
		重複　(No.14)多文化共生推進	
		重複　(No.26)豊岡演劇祭協同開催	
		重複　(No.38)専門職大学誘致	
	04-04	**世界の人々と対等に向き合う人材が増えている**	
		No.38　専門職大学誘致 【継続】	63
		重複　(No.26)豊岡演劇祭協同開催	
		重複　(No.42)高校生コミュニケーション教育等支援	
		重複　(No.44)英語教育推進	
05	**子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている**		
	05-01	**子どもたちが豊岡のことをよく知っている**	
		No.39　ふるさと教育推進 【継続】	65
		No.40　子どもの野生復帰 【継続】	66
		No.41　おっとろっしゃ！とよおかのものづくり 【継続】	67
		重複　(No.42)高校生コミュニケーション教育等支援	
	05-02	**子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている**	
		No.42　高校生コミュニケーション教育等支援 【拡大】	69
		重複　(No.39)ふるさと教育推進	
	05-03	**子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる**	
		No.43　コミュニケーション教育推進 【継続】	71
		No.44　英語教育推進 【継続】	72
		No.45　豊岡の未来を創る高校生支援 【継続】	73

		No.46　非認知能力向上対策 【継続】	74
		No.47　英語遊び保育推進 【継続】	75
06	結婚したいと思う人が結婚できている		
	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	
		No.48　民間団体への婚活イベント補助 【継続】	77
	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	
		No.49　出会い機会創出(恋するお見合い) 【継続】	79
		No.50　出会い機会創出(はーとピー) 【継続】	80
		重複　(No.48)民間団体への婚活イベント補助	
	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
		No.51　ボランティア仲人養成 【継続】	82
		No.52　結婚相談所機能拡充 【継続】	83
		No.53　結婚・女性活躍推進調査 【継続】	84
		重複　(No.50)出会い機会創出(はーとピー)	

Ⅰ　2020年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

主要手段ー具体的手段		2020年度事業（*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載）
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	豊岡ファンミーティング、Ｉターン推進（移住プロモーション）、文化と教育の先端自治体連携、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）、定住推進
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	ＩＴ企業誘致推進、スマート農業推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）、政策アドバイザー設置、新規就農総合支援、豊岡農業スクール
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）〔重複〕、アーティスト・クリエーター移住等促進〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育てママの活躍機会促進
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、但馬空港利用促進、観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2020、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2020参加）、城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン2020参加）、城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）、アーティスト・イン・レジデンス、芸術文化情報発信、アーティスト・クリエーター移住等促進、演劇のまちづくり推進、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学誘致〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学誘致、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、子どもの野生復帰、おっとろっしゃ！とよおかのものづくり、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	高校生コミュニケーション教育等支援、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	民間団体への婚活イベント補助
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	出会い機会創出（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーとピー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕

Ⅱ 2020年度 地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 （2桁）	具体的手段 （4桁）	
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01	豊岡の良さが内外に伝わっている
	02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
01手段小計（6事業） ※重複は除く		
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04	市民が多様な人々を受け入れている
02手段小計（8事業） ※重複は除く		
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
03手段小計（6事業） ※重複は除く		
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている

（単位：千円）

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	豊岡ファンミーティング	2,240	大交流課
2	Ｉターン推進（移住プロモーション）	4,177	環境経済課
3	文化と教育の先端自治体連携	1,361	大交流課
重複	（No.23）観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	ー	ー
4	Uターン推進	6,801	環境経済課
5	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	6,079	環境経済課
6	定住推進	5,400	環境経済課
		26,058	
7	ＩＴ企業誘致推進	11,774	環境経済課
8	スマート農業推進	543	農林水産課
9	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）	45,237	環境経済課
10	政策アドバイザー設置	9,509	大交流課
11	新規就農総合支援	31,996	農林水産課
12	豊岡農業スクール	11,429	農林水産課
13	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進	5,745	環境経済課
重複	（No.8）スマート農業推進	ー	ー
重複	（No.27）コウノトリ育むお米ブランド化推進	ー	ー
14	多文化共生推進	2,961	政策調整課
重複	（No.5）Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	ー	ー
重複	（No.36）アーティスト・クリエーター移住等促進	ー	ー
		119,194	
15	ジェンダーギャップ解消推進	6,827	ワークイノベーション推進室
16	子育て広場管理	196	健康増進課
17	ファミリーサポートセンター	1,370	こども育成課
重複	（No.15）ジェンダーギャップ解消推進	ー	ー
重複	（No.16）子育て広場管理	ー	ー
18	ワークイノベーション推進	7,048	ワークイノベーション推進室
19	子育て中の女性の就労促進	2,015	ワークイノベーション推進室
20	子育てママの活躍機会促進	535	健康増進課
		17,991	
21	城崎温泉街交通環境改善	5,245	建設課
22	但馬空港利用促進	11,240	都市整備課
23	観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	7,841	大交流課
24	観光まちづくり推進（専門人材配置）	17,302	大交流課
25	インバウンド誘客推進	42,218	大交流課
26	豊岡演劇祭協同開催	57,320	大交流課
27	コウノトリ育むお米ブランド化推進	7,762	農林水産課
重複	（No.34）アーティスト・イン・レジデンス	ー	ー

主要手段 （2桁）	具体的手段 （4桁）	
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
04手段小計（18事業） ※重複は除く		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
05手段小計（9事業） ※重複は除く		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
06手段小計（6事業） ※重複は除く		

2020地方創生（53事業） 総計
※参考　2019地方創生（76事業）

事業No.	事業名	予算額	担当課
28	出石永楽館歌舞伎開催	79,495	出石振興局
29	芸術文化参与の設置	1,800	文化振興課
30	豊岡アートシーズン2020	11,537	文化振興課
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2020参加）	7,092	生涯学習課
32	城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン2020参加）	3,657	大交流課
33	城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）	13,637	大交流課
34	アーティスト・イン・レジデンス	15,775	大交流課
35	芸術文化情報発信	1,729	大交流課
36	アーティスト・クリエーター移住等促進	291	大交流課
37	演劇のまちづくり推進	4,005	大交流課
重複	（No.14）多文化共生推進	ー	ー
重複	（No.26）豊岡演劇祭協同開催	ー	ー
重複	（No.38）専門職大学誘致	ー	ー
38	専門職大学誘致	19,255	大交流課
重複	（No.26）豊岡演劇祭協同開催	ー	ー
重複	（No.42）高校生コミュニケーション教育等支援	ー	ー
重複	（No.44）英語教育推進	ー	ー
		307,201	
39	ふるさと教育推進	3,716	こども教育課
40	子どもの野生復帰	9,000	生涯学習課
41	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	400	環境経済課
重複	（No.42）高校生コミュニケーション教育等支援	ー	ー
42	高校生コミュニケーション教育等支援	8,716	環境経済課
重複	（No.39）ふるさと教育推進	ー	ー
43	コミュニケーション教育推進	693	こども教育課
44	英語教育推進	38,917	こども教育課
45	豊岡の未来を創る高校生支援	2,660	こども教育課
46	非認知能力向上対策	2,578	こども教育課
47	英語遊び保育推進	4,668	こども育成課
		71,348	
48	民間団体への婚活イベント補助	480	健康増進課
49	出会い機会創出（恋するお見合い）	814	健康増進課
50	出会い機会創出（はーとピー）	3,427	健康増進課
重複	（No.48）民間団体への婚活イベント補助	ー	ー
51	ボランティア仲人養成	923	健康増進課
52	結婚相談所機能拡充	801	健康増進課
53	結婚・女性活躍推進調査	764	健康増進課
重複	（No.50）出会い機会創出（はーとピー）	ー	ー
		7,209	
		549,001	※対前年比 80.3%
		(683,734)	

Ⅲ　2020 年度
地方創生事業の戦略体系別取組概要

■ 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 （最終ｱｳﾄｶﾑ）	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 （中間ｱｳﾄｶﾑ）	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

「上位目的」（※最終アウトカム：本戦略において長期的に実現したい状態）」を実現するために、戦略目的（※中間アウトカム：当面５年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段（２桁）と、その主要手段を実現するための具体的手段（４桁）を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

【2040 年の豊岡市の目標人口　⇒　62,165 人】

○　政策目標

１　若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）

・ 2015 年「39.5%」➡　2025 年までに「50%」に引き上げる

２　合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）

・ 2015 年「1.82 人」➡　2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率　～2010 年国勢調査時と 2015 年国勢調査時の比較 ～ ）

	2010 年国勢調査（2005→2010 年）		2015 年国勢調査（2010→2015 年）	
・全体	34.2%	→	39.5%	（ ＋ 5.3ﾎﾟｲﾝﾄ ）
・男	34.7%	→	52.2%	（ ＋17.5ﾎﾟｲﾝﾄ ）
・女	33.4%	→	26.7%	（ △ 6.7ﾎﾟｲﾝﾄ ）

【戦略目的】

暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

○ 講ずべき施策に関する基本的方向

⑴　豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
⑵　その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市―Local&Global City―」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
⑶　豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
⑷　特に、若い女性を増やす対策を進める。
⑸　以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

次ページ以降、「戦略目的」の戦略体系に基づく 2020 年度地方創生取組みを掲載

具体的手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2020 年度予算額	7,778　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
1	豊岡ファンミーティング	2,240 千円	新規
2	Ｉターン推進 （移住プロモーション）	4,177 千円	継続
3	文化と教育の先端自治体連携	1,361 千円	継続
重複	（№23）観光事業 （メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	（7,841 千円）	継続
合計		7,778 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
№1　事業名　豊岡ファンミーティング		2020 年度予算額	2,240 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡市のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン（以下、ファン）”が増え、“ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡市の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

○　本市の取組み・理念に共感した支持者（サポーター）であり、周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン“との関係強化のため、豊岡市内でファンミーティングを開催する。

1　事業内容

2008年度から、首都圏での情報発信、メディアとの関係構築・強化を目的に「豊岡エキシビション」を毎年１回東京で開催してきた。

その結果、メディアに取り上げられる件数が年々増加するなど、本市の知名度は高まってきているとともに、取組みや理念に共感いただく“豊岡ファン”の方も増えてきている。

今後は、こうした豊岡ファンの方々を大切に、ファンをベースとした中長期的に知名度や価値を高めていく“ファンベース”の考え方に基づいた情報戦略を推進し

ていく（豊岡エキシビションは2019年度で終了）。
　豊岡エキシビションやメディア対応等で関係を構築してきた方々などの豊岡ファンとの関係を深める場として、“ファンミーティング（豊岡ファン交流会）”を市内で開催する。
⑴　開催時期
　　2020年9月頃　（第1回豊岡演劇祭開催期間中）
⑵　開催場所
　　豊岡市内
⑶　内容
　ア　豊岡ファンへ豊岡市の取組みを紹介する。（情報アップデート）
　イ　豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施する。

２　事業期間
2020 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
2,240 千円

豊岡エキシビション

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No.2　事業名	Ｉターン推進（移住プロモーション）	2020 年度予算額	4,177　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　市民と協働して豊岡の暮らしの魅力を発信することにより、ＵＩターン促進への意識が醸成され、移住者や積極的に関わる人が増えている。

《事業目的（趣旨）》
○　市内外の人に、豊岡市で暮らす価値や魅力を知ってもらうため、情報発信やきっかけづくりを行う。

1　事業内容

⑴　移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信

市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事や SNS で発信する。合わせて、住まい、補助金などの移住サポート情報も発信する。

移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。

⑵　移住ポータルサイトの保守管理

ウェブサイトのシステム保守や内容を更新する。

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

4,177 千円

移住ポータルサイト
「飛んでるローカル豊岡」

「SMOUT」

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
№3　事業名　文化と教育の先端自治体連携		2020 年度 予算額	1,361 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　文化・芸術・教育に関心の高い若者や子育て世代が、豊岡に魅力を感じている。

《事業目的（趣旨）》

○　文化や教育による先端的なまちづくりを進めている自治体が連携し、互いの強みを磨き、足りないところを学び合うとともに、新たな価値観、手法などを共同で情報発信や構成自治体の住民・職員の理解と浸透を促進する。

＜文化と教育の先端自治体連合　構成自治体（２市３町）＞

北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市

１　事業内容

⑴　構成自治体職員等の研修

文化と教育のまちづくりの意義や価値を考え、まちづくりにおける俯瞰した視点や多様性の認識など政策企画の前提となる能力を磨く研修を開催する。

⑵　演劇的手法を用いた非認知スキル向上の取組み、効果測定・分析・検証

連合の共同事業として決定した非認知スキル向上の取組みとその効果測定・分析・検証を実施する。

⑶　連合のＷｅｂサイト運営

連合の理念や構成自治体の取組み、合同イベントなどの情報発信等を行う。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

1,361 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2020 年度予算額	6,801　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
4	Ｕターン推進	6,801　千円	継続
合計		6,801　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
№4　事業名　Ｕターン推進		2020 年度予算額	6,801　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡の企業情報や、仕事のやりがいだけでなく豊岡の暮らしも合わせて情報発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Ｕターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

○　職業紹介サイト「ジョブナビ豊岡」で効果的な情報発信を行うとともに、市内からの進学者が多い京阪神での就活イベントを開催する。学生等のつながりを作り、意識を豊岡に向け、Ｕターンを促す。

1　事業内容

⑴　ジョブサポ豊岡（Ｕターン希望者の職業紹介所）運営事業

ア　窓口相談（随時）

イ　お盆・お正月のマッチング相談会（市内）

ウ　兵庫県北部合同企業説明会の実施

場　　所：グランフロント大阪（予定）

参加企業：70 社（うち市内 40 社程度）

⑵　情報発信事業

ア　ジョブナビ豊岡での情報発信

サイト管理及び更新業務

イ　ＳＮＳ広告等での情報発信

新規ユーザー獲得のためのＦＢリスティング広告、ＳＮＳ・ＳＭＳ広告

ウ　冊子での魅力紹介（就活応援ブック）

仕事や企業の情報のみならず、地域や面白い人の紹介など、若い人たちが魅力に感じるコンテンツを冊子にまとめ、市内高校を卒業した大学生等に配布する。

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

6,801 千円

兵庫県北部豊岡企業説明会の様子

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2020 年度予算額	11,479　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
5	Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	6,079 千円	継続
6	定住推進	5,400 千円	拡大
合計		11,479 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No.5　事業名	Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	2020 年度予算額	6,079　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付けるとともに、移住後の不安解消や、新たな人のつながりや活動が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

○　移住を希望する人に、求める情報を的確に提供し、移住定住に導く。
　また、さまざまな人が集う居場所（サードプレイス）で、移住者の移住前後においての不安解消や新たな人のつながりを創出する。

１　事業内容

⑴　ワンストップ窓口の設置
　移住希望者へ、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施する総合窓口の設置。

⑵　移住イベントへの出展
　潜在的な移住希望者が多い、都市圏（東京･大阪）で開催される移住イベントへ出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。

⑶　まちのサードプレイス（暮らしのパーラーTOYOOKA）の運営
　年齢や性別、立場の異なる人が集い交流する場を提供することで、新たな人のつながりや活動を創出する。
　移住相談と現地案内等を市民と連携･協働して移住推進を図る。観光客や外国人へ豊岡の魅力を伝えるコンシェルジュとしての機能も果たす。

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

ワンストップでの移住相談の様子

「暮らしのパーラーTOYOOKA」

4　予算額（補助率・負担率等）

6,079 千円

⑴　ワンストップ窓口の設置　　371 千円
⑵　移住イベントへの出展　　608 千円
⑶　まちのサードプレイスの運営　5,100 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No.6　事業名　定住推進		2020 年度 予算額	5,400　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

○　移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。

1　事業内容

⑴　移住検討者への支援

ア　宿泊費補助（豊岡市移住促進支援補助金）

本市への移住を目的とし、住居や仕事を探す活動または、市の文化や歴史、風土、気候等を知るために本市を訪れる方を対象に宿泊費用の一部を補助する。

イ　移動経費補助（豊岡市移住促進支援補助金）【拡大】

移住検討者が飛行機を利用して来訪する場合（伊丹空港を経由して但馬空港へ）に飛行機代の一部を補助する。（往復で定額 8,000 円）

⑵　空き家活用等補助（豊岡市定住促進事業補助金）

移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」に掲載されている空き家物件を取得、または賃借し、５年以上定住する者に当該物件の改修等の費用を補助する。

２　事業期間

2010 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

5,400 千円

⑴　移住検討者への支援

ア　宿泊費補助　　240 千円（定額補助）

イ　移動経費補助　160 千円（定額補助）

⑵　空き家活用等補助　5,000 千円（補助率 3/4、上限 1,000 千円）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手　段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2020 年度予算額	12,317　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
7	ＩＴ企業誘致推進	11,774 千円	拡大
8	スマート農業推進	543 千円	継続
合計		12,317 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02－01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
№7　事業名　ＩＴ企業誘致推進		2020 年度予算額	11,774　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、ＵＩターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

○　若者や女性が働きたい職場となることが期待されるＩＴ企業等を効率よく誘致するため、協力者のコネクションを活用した誘致活動を展開する。また、ＩＴ企業誘致に関する補助制度を見直し、既存事業者の拡大や地域課題解決に取り組む事業者への支援に対応する。

1　事業内容

⑴　豊岡ＩＴ起業家リレー作戦（紹介方式によるＩＴ企業誘致活動）【拡大】

誘致ターゲット企業へのリーチ手法の確立

ア　自治体との共同事業を希望する事業者及び地方にサテライトオフィス等の開設を検討する事業者をターゲット企業に設定する。

イ　既に市とつながりがあり、ＩＴ業界に精通する協力者の紹介によってターゲット企業へ接触する。

ウ　ターゲット企業が有する技術を活用できる地域課題や市内立地に興味を持てる施設・人物等の記事をＷＥＢライターが作成してＳＮＳで発信する。

エ　ターゲット企業が豊岡で挑戦する地域課題を市と協議して設定する。

⑵　ＩＴ関連事業所開設支援補助金

市内に新たにＩＴ関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、補助金の交付を行う。

対象経費	県補助併用の場合		市単独補助の場合	
	補助率	限度額	補助率	限度額
①賃借料	1/4 以内	30 万円/年	1/2 以内	60 万円/年
②通信回線使用料				
③開発費（※1）	1/2 以内	50 万円/年		50 万円/年
④建物改修費	1/4 以内	50 万円（※2）		100 万円（※3）
⑤事務機器取得費		25 万円		50 万円

期間　①②3 年間（36 カ月）、③事業開始年度含む 3 年度間、④⑤開設時 1 回

※1　地域課題解決を目的とする場合のみ

※2　空き家等利用する場合は 100 万円

※3　空き家等利用する場合は 200 万円

⑶　豊岡市高度ＩＴ起業家等集積支援事業補助金

ＩＴ業界のカリスマ起業家等による事業所開設の支援として、県が兵庫高度ＩＴ起業家等集積支援事業（ＩＴカリスマ誘致事業）補助金を交付する事業者に随伴補助を行う。

対象経費	補助率（※1）	限度額
①賃借料	1/4 以内	30 万円/年
②通信回線使用料		
③IT カリスマ人材人件費	10/10 以内（定額補助）	500 万円/年
④建物改修費	1/4 以内	25 万円（※2）
⑤事務機器取得費		25 万円

期間　①②③3 年間（36 カ月）、④⑤開設時 1 回

※1　県の補助金と合わせた補助率は 1/2 以内

※2　空き家等利用し、かつ、補助対象経費が 100 万円以上の場合に限り 75 万円

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

11,774 千円

⑴　豊岡ＩＴ起業家リレー作戦（事務費等）1,761 千円

⑵　ＩＴ関連事業所開設支援補助金　4,413 千円

⑶　豊岡市高度ＩＴ起業家等集積支援事業補助金　5,600 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02－01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
No.8　事業名　スマート農業推進		2020 年度 予算額	543　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○ ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》
○ コウノトリ育む農法の品質向上のため、水田センサーによる水位、水温及び地温のセンシングデータを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。

1　事業内容

2018、2019 年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で使用した、水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを、実施事業協力農家、新規就農者及び関係機関に活用いただき、特に出穂前後の水管理を可視化して、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。

2　事業期間

2018 年度～

3　事業主体

豊岡市、農業者等

4　予算額（補助率・負担率等）

543 千円

水田センサーのセンシングを活用した水稲高温障害対策

水田センサー、管理システム（アプリ）

（2018 年 5 月）水田センサー設置の様子

目的
コウノトリ育む農法の品質向上のため、水田センサーによる水位、水温及び地温のセンシングデータを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	2020 年度予算額	98,171　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
9	内発型産業育成 （ビジネス相談窓口、創業支援等）	45,237　千円	継続
10	政策アドバイザー設置	9,509　千円	継続
11	新規就農総合支援	31,996　千円	継続
12	豊岡農業スクール	11,429　千円	継続
合計		98,171　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.9　事業名	内発型産業育成 （ビジネス相談窓口、創業支援等）	2020 年度予算額	45,237　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

○　成長を目指す企業、創業に取り組む若者や女性を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1　事業内容

⑴　ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA（イッポ トヨオカ）」（注）の運営

市内創業希望者や市内企業を対象にした
ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。

ア　ビジネスに関する総合相談

事業の立ち上げや高度化に必要な助言、
事業計画策定の支援などを行う。

イ　外部専門家アドバイザー派遣相談

ニッチ分野や先端技術等に係る専門性の高い相談を対象に、外部専門家を派遣した相談を行う。

ウ　ビジネス勉強会・利用促進セミナーの開催

創業検討者や市内企業等を対象にしたビジネス勉強会や IPPO　TOYOOKA 利用促進のためのセミナーを開催する。

（注）豊岡市大磯町　じばさん TAJIMA ビル 5 階　FLAP（フラップ） TOYOOKA（トヨオカ）内に、月に 4～5 日開設（利用は事前予約制）

⑵　補助制度

ア　豊岡市創業支援補助金

創業・事業承継に取り組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。

イ　豊岡市ステップアップ支援補助金

具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

制度	対象	商工団体の伴走支援(※)	補助率及び補助額	対象経費
豊岡市創業支援補助金	女性・若者 ※若者：45歳以下	必須	2 分の 1 以内 上限 100 万円	設備導入費、事業所開設費、広告宣伝費　等
豊岡市ステップアップ支援補助金	市内事業者		2 分の 1 以内 上限 150 万円	設備導入費、事業所改修費、展示会出展費、WEB 改修費　等

※豊岡商工会議所又は豊岡市商工会による事業者への継続的な助言、指導等の支援

⑶　豊岡市創業支援等事業計画に基づく事業

ア　市内商工団体・金融機関等との連絡会議の開催

イ　コワーキングスペース「FLAP　TOYOOKA」を活用した創業セミナーの開催　等

２　事業期間

2019 年度～2021 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

45,237 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：20,000 千円）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.10　事業名　政策アドバイザー設置			2020 年度 予算額	9,509 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　地域の課題を解決するための新たな事業や仕事にチャレンジする人が増え、その取組みが継続的に行われている。

○　統一・調和したデザインにより、まちの景観がつくられている。

○　データを活用し、マーケティングの視点を取り入れた事業が継続的に行われている。

《事業目的（趣旨）》

○　政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受けるため、豊岡市政策アドバイザーを設置する。

１　事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを３名設置する。

＜助言を求める分野＞

⑴　ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する分野

⑵　まちづくりにおけるデザイン全般に関する分野

⑶　データ分析やマーケティング全般に関する分野

２　事業期間

2018 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

9,509 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.11　事業名　新規就農総合支援		2020 年度 予算額	31,996 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

○　豊岡で農業を頑張る若者に対し、農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助により住居負担を軽減することで、地方創生の柱である若者の定住を推進する。

　また、国の農業次世代人材投資事業を活用し、経営が不安定な就農直後（５年以内）の所得を確保する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。

１　事業内容

⑴　若手農家支援事業

ア　農業用機械等整備費助成事業

農業用機械等の導入経費の 1/2 以内(上限 3,000 千円)を補助

イ　住居費助成事業

市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生に対し、家賃の 1/2 以内(上限 20 千円/月)を補助

⑵　農業次世代人材投資事業

国制度を活用し、１年あたり最高 1,500 千円/人の資金を最長５年間交付する。

⑶　就農イベント出展事業

就農希望者が集うイベントに参加し、新規就農者を発掘する。

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

31,996 千円

就農イベントでの相談の様子（2019.12.14）

⑴　若手農家支援事業・就農イベント出展事業　12,496 千円

（ふるさと納税：11,000 千円）

⑵　農業次世代人材投資事業　19,500 千円

（新規就農総合支援事業費補助金　補助率：10/10）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.12　事業名　豊岡農業スクール		2020 年度 予算額	11,429 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

○　本市の農業は、新規就農者及び農業後継者の確保・育成が喫緊の課題であり、明日の農業の担い手を養成するため、就農意欲の高い若者に対して、円滑に就農するために必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業等を「豊岡農業スクール」で習得させ、農業を持続可能な産業に結び付ける。

１　事業内容

市が就農意欲のある研修生（年３人）の募集と、事前登録された認定農業者への研修生（新規３人＋在学生３人）の派遣研修（最長３年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。

２　事業期間

2013 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

11,429 千円

（ふるさと納税：11,000 千円）

親方農家から田植え指導を受けている様子（2019.5.30）

【参考】

現在まで 20 人が入校(2020 年１月現在)

内 11 人が同スクールを卒業し、市内で雇用就農・自営就農した。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2020 年度予算額	5,745　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
13	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドＰＲ推進	5,745 千円	拡大
重複	（No.8）スマート農業推進	（543 千円）	継続
重複	（No.27）コウノトリ育むお米ブランド化推進	（7,762 千円）	継続
合計		5,745 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02－03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている			
No.13　事業名	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドＰＲ推進		2020 年度予算額	5,745　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　鞄産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○　豊岡鞄・豊岡財布の技術深化を図るため、財布の生産能力を習得する人材育成事業を行い、産業の新たな柱としての定着を目指す。

○　「豊岡鞄」ブランドの価値を向上させる取組みを支援する。特に、今年開催される東京オリンピックを見据え、高品質を追い求めた「豊岡鞄」ブランドの国内外へ向けた情報発信力を強化する。

１　事業内容

⑴　豊岡財布生産能力育成事業【拡大】

2020 年度から新たに開講される豊岡財布スクール「アルチザン財布専科」を通じて、財布の生産ができる人材を育成する。財布専科では３か月間（約 520 時間）の講座を年間２回開講する。生徒は１講座あたり 10 人までとし、きめ細やかな指導により、型紙の作成から縫製まで一人で財布が作れる職人の育成を目指す。

⑵　豊岡鞄ブランド PR 推進事業

兵庫県鞄工業組合が実施する「豊岡鞄」ブランド価値向上のために実施する事業に対して補助を行う。

ア　2018 年度にオープンした豊岡鞄の旗艦店である「KITTE 丸の内店」や豊岡鞄を扱うフランチャイズ店について、首都圏における豊岡鞄ブランドの情報発信機能を強化する。そのため、首都圏で開催する展示会でのアンケート収集及び分析に基づき、訴求力の高い店舗づくりを行う。

イ　「豊岡鞄」東京展示会の開催（KITTE 丸の内店地下 1 階）、有名百貨店等での「豊岡鞄」フェアの実施

２　事業期間

⑴　豊岡財布生産能力育成事業
2020 年度～2021 年度

⑵　豊岡鞄ブランド PR 推進事業
2006 年度～

３　事業主体

豊岡まちづくり株式会社、兵庫県鞄工業組合、豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

5,754 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2020 年度予算額	2,961　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
14	多文化共生推進	2,961 千円	拡大
重複	（№5） Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス）	（6,079 千円）	継続
重複	（№36）アーティスト・クリエーター移住等促進	（291 千円）	継続
合計		2,961 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
№14　事業名　多文化共生推進			2020 年度予算額	2,961　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　外国人住民がまちの一員としていきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

○　外国人住民が年々増加傾向にある中、外国人住民の現状把握と課題を明らかにし、外国人も地域や職場の一員として活躍する、多様性を受け入れ支え合うまちづくりを推進する。

1　事業内容

⑴　外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）

外国人住民、外国にルーツを持つ子どもの生活実態と抱える課題について、共同研究チームによるヒアリング調査を実施するとともに、他地域の先進事例を研究する。

⑵　調査結果を踏まえて、多文化共生を推進するための戦略を策定する。【拡大】

2　事業期間

2019 年度～

3　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

2,961 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【政策調整課】（内線 2081）

具体的手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	2020 年度予算額	8,393　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
15	ジェンダーギャップ解消推進	6,827 千円	継続
16	子育て広場管理	196 千円	継続
17	ファミリーサポートセンター	1,370 千円	継続
合計		8,393 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
№15　事業名　ジェンダーギャップ解消推進		2020 年度予算額	6,827 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくりを進めるにあたり、現時点で最大の課題と考えられるジェンダーギャップ（性別に基づき定められた社会的属性、機会等の格差）が解消されている。

《事業目的（趣旨）》

○　家庭、地域等を含めたまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた戦略を策定する。2020 年 4 月に、戦略策定委員会を設置し、市民主体で地域に根差した未来志向の戦略案をとりまとめる。

　また、戦略策定過程や進捗状況などを広く発信し、ジェンダーギャップ解消の意義やメリット、多世代、多様な人々の参画の必要性について市民の関心を高める。

1　事業内容

⑴　ジェンダーギャップ解消に向けた戦略策定

ア　アドバイザーの設置

イ　戦略策定委員会の開催　３回（2020 年４月～７月）（予定）

ウ　戦略策定　2020 年９月（予定）

⑵　シンポジウムの実施

ア　日程：2020 年 11 月下旬（予定）

イ　内容：戦略説明、講演、高校生の提言メッセージなど

２　事業期間

2019 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

6,827 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.16　事業名　子育て広場管理			2020 年度予算額	196 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　小さな子も安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育ての楽しさを実感する子育て世代と、その様子を温かいまなざしで見守るまちの人々が行き交い、市民の子育て応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○　子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

１　事業内容

各地域の「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、豊岡地域を除く５か所の子育て広場の除草、施肥等の維持管理を行う。

また、別事業である「子育て女性活動団体へのイベント開催経費補助事業」の開催指定場所にするなど、子育て世代の活用を促進する。

２　事業期間

2017 年度～

（ハード整備は 2017～2018 年度）

３　事業主体

豊岡市

たけの子育て広場で遊ぶ親子

4　予算額（補助率・負担率等）

196 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
№17　事業名　ファミリーサポートセンター		2020 年度予算額	1,370　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

○　ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1　事業内容

⑴　会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。

⑵　会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等で事業のＰＲを行うとともに、更なる会員獲得のため、2020 年度も継続して交流事業を実施する。

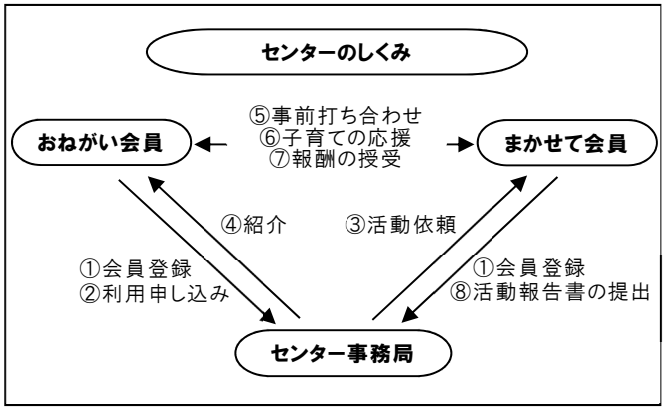
※2017 年４月にセンター設立後、同年７月から相互援助活動を開始している。
会員数は 224 人（2019 年 12 月 31 日現在）。2018 年度末 178 人。

2　事業期間

2017 年度～

3　事業主体

豊岡市



４　予算額（補助率・負担率等）

1,370 千円

（国補助率　基準額の 1/3）

（県補助率　基準額の 1/3）

「まかせて会員」講習会の様子

相互援助活動（送迎）の様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的手　段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	2020 年度予算額	ー　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
重複	（№15）ジェンダーギャップ解消推進	（6,827 千円）	継続
重複	（№16）子育て広場管理	（196 千円）	継続
合計		ー 千円	

※重複は合計から除く

具体的手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2020 年度予算額	9,598　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
18	ワークイノベーション推進	7,048 千円	継続
19	子育て中の女性の就労促進	2,015 千円	継続
20	子育てママの活躍機会促進	535 千円	継続
合計		9,598 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
№18　事業名　ワークイノベーション推進			2020 年度予算額	7,048　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。

　そのことを可視化することによって、若い女性のＵＩターンの増加や定着につなげる。

1　事業内容

⑴　市民の理解拡大

　まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

⑵　経営者、人事担当者、管理職の意識改革、行動改革

　従業員意識調査、演劇ワークショップ、無意識の偏見セミナーなどを開催する。

⑶　女性従業員のキャリア形成支援

　演劇ワークショップ、無意識の偏見セミナーなどを開催する。

⑷　先進事業所の可視化と他の事業所への波及

　女性の働きやすさ、働きがいが一定水準に達している事業所の表彰審査を行い、表彰式・事例発表会を開催する。

２　事業期間
2018 年度～2027 年度

３　事業主体
豊岡市

市内事業所の管理職向け演劇ワークショップの様子(2019.9.27)

４　予算額（補助率・負担率等）
7,048 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
№19　事業名　**子育て中の女性の就労促進**		2020 年度予算額	2,015　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》
○　人材不足に悩む市内の事業所に対し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境の整備を促すとともに、働きたいが働けていない子育て中の女性に対しては、少日数・短時間勤務で再就職のハードルを下げて就労促進を進める。このことにより、働きたい女性の願いを叶え、子育てに関する経済的なハードルを下げるとともに、若い女性に「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。

１　事業内容
⑴　子育て中の女性向けワークショップ
マネーシミュレーション（今後の教育費増加等を試算）や適職診断などを行いながら、「子育てしながら働く」ということを具体的にイメージし、実行につなげられるようなワークショップを開催する。
⑵　事業所へのプチ勤務導入促進
子育て等で時間制約のある方でも働きやすい「プチ勤務」の導入を市内事業所において働き方改革（業務の切り出し、シフトの精査など）しながら進める。
〈参考〉プチ勤務…１日２・３時間～、週１日～といった、超短時間勤務のこと
⑶　お仕事大相談会の開催
子育て中の女性とプチ勤務導入事業所のマッチング機会を創出する。

お仕事大相談会の様子(2019.10.21)

2　事業期間
2018 年度～2022 年度

3　事業主体
豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）
2,015 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.20　事業名　**子育てママの活躍機会促進**		2020 年度予算額	535 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　子育て中の女性が地域でいきいきと活躍している。

《事業目的（趣旨）》
○　子育て中のママの「役割」や「活躍の場」を開拓するとともに、市民がいきいきと活動する親子の姿を見ることにより、子育てをポジティブにとらえる意識を醸成する。

1　事業内容
⑴　「ママハタ」の派遣の場を創出
「NPO 法人ママの働き方応援隊(通称：ママハタ)」と連携して、学校や地区で「赤ちゃん先生クラス」を開催する。
また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。
⑵　子育て女性活動団体へ、イベントの開催経費を補助
子育て中の女性で構成する活動団体が、子育て世代ならだれでも参加できるイベントを開催する際、その経費の一部を補助し、まちを挙げた子育て応援の機運を高める。
＜補助内容＞上限 50 千円/件、補助率 10/10

2　事業期間
⑴　「ママハタ」の派遣　　2018 年度～
⑵　イベント開催経費の補助　　2019 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

535 千円

（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

ママハタの派遣事業

「ハグハグフェスタ豊岡」

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2020 年度予算額	141,166　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
21	城崎温泉街交通環境改善	5,245　千円	継続
22	但馬空港利用促進	11,240　千円	継続
23	観光事業 （メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	7,841　千円	継続
24	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	17,302　千円	継続
25	インバウンド誘客推進	42,218　千円	拡大
26	豊岡演劇祭協同開催	57,320　千円	拡大
合計		141,166　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
№21　事業名　城崎温泉街交通環境改善			2020 年度予算額	5,245　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる交通環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

○　城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。

この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1　事業内容

桃島バイパスを視野に入れた交通環境対策の検討協議及び交通環境改善計画の策定を行う。

２　事業期間

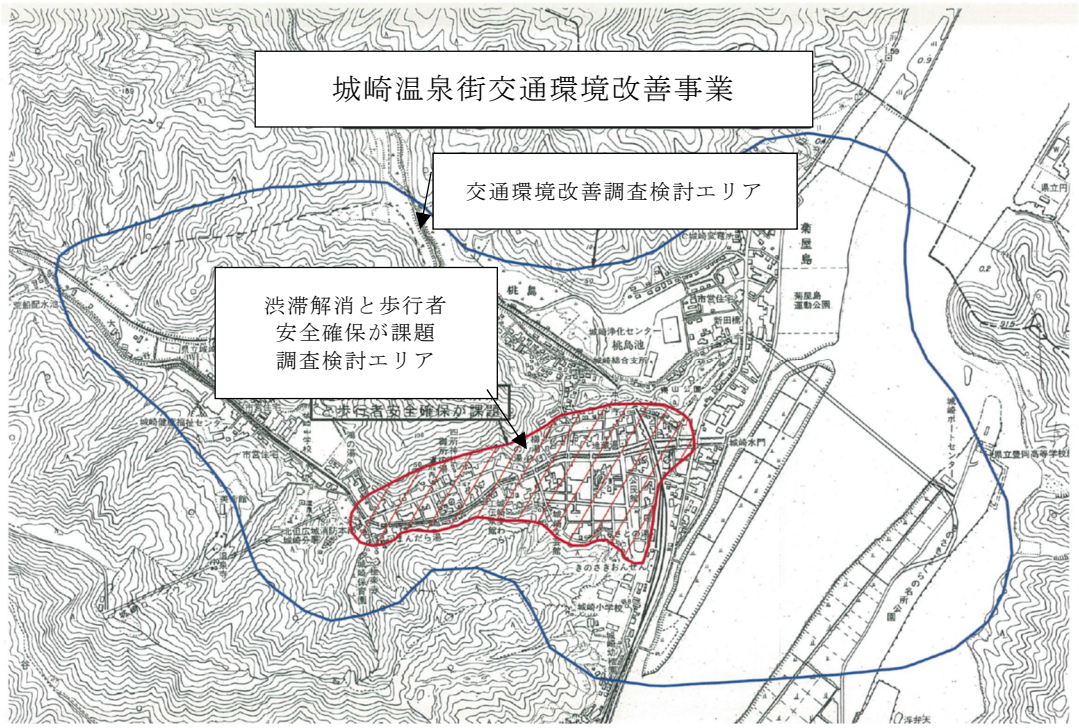
2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

5,245 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【建設課】（内線 2014）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.22　事業名　但馬空港利用促進		2020 年度 予算額	11,240　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　多くの人々がコウノトリ但馬空港を利用して来訪し、豊岡を楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

○　地域活性化を促す交流促進に不可欠な東京（羽田）直行便の実現に向け、豊岡の認知度向上と魅力発信を行い、東京（羽田）乗継利用に重点を置いた現路線を利用した誘客を図り、航空需要を拡大する。

1　事業内容

国内外の旅行者に対し､情報発信力が強い航空会社と協働し､豊岡の魅力を伝え、来訪者の増加と但馬空港の活性化を図る各種プロモーションを実施する。

首都圏在住者を主なターゲットとし、ファン層の多い「写真愛好家」に向けたツアー造成等各種事業を実施する。

⑴ 航空会社機内誌、特設ホームページ等での情報発信
⑵ 需要喚起商品の造成
⑶ 首都圏における広告掲出等、各種情報発信
⑷ カメラ雑誌への掲載、フォトコンテストの実施
⑸ モニターツアーの企画造成

2　事業期間

2016 年度～2020 年度

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

11,240 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：5,000 千円）

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.23　事業名	観光事業（メディア・旅行エージェント招聘、観光データ収集等）	2020 年度予算額	7,841 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡の魅力がテレビ・雑誌・WEB サイト等のメディアに取り上げられること（外部視点による豊岡の魅力の高い評価）で、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。

また、勘と経験頼みの場当たり的な観光施策から脱却し、客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。

《事業目的（趣旨）》

○　国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェントなどを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。

また、観光に関する様々な客観的データを取得・分析し、その結果をもとに施策を定量的に検証する仕組みを導入することで、観光による地域への経済波及効果へとつなげていく。

加えて、無料で利用できる公衆無線 LAN 環境を提供することにより、受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上を図る。

1　事業内容

⑴　メディア・旅行エージェント招聘事業【3,000 千円】

⑵　観光施策に係る評価指標データ収集業務【4,233 千円】

ア　来訪者アンケート収集、分析業務

イ　携帯電話の位置情報を活用した来訪者データ調査分析業務

⑶　「TOYOOKA_CITY_Free_WiFi」公衆無線 LAN 運用業務【608 千円】

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

7,841 千円

⑴　メディア・旅行エージェント招聘事業　3,000 千円

⑵　観光施策に係る評価指標データ収集業務・「TOYOOKA_CITY_Free_WiFi」公衆無線 LAN 運用業務　4,841 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24　事業名	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	2020 年度 予算額	17,302 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら広義の観光産業に取り組み「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

○　専門的な視野を持った経営人材やマーケティングの専門家を配置し、一般社団法人豊岡観光イノベーションの事業展開を支援する。

　また、一般社団法人豊岡観光イノベーションが組織強化と事業の継続性を目的に配置するプロパー人材の配置を支援する。

１　事業内容

企業人派遣、データアナリスト、プロパー人材の配置

経営人材やデータ収集・分析の専門家等の配置による豊岡観光イノベーションの事業展開の支援

⑴　企業人派遣　１名
⑵　データアナリストの配置　１名
⑶　プロパー人材の配置　２名

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

17,302 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.25　事業名　インバウンド誘客推進			2020 年度 予算額	42,218　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ターゲット市場における豊岡の認知度が高まり、外国人観光客が豊岡の観光情報を簡単かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、市を訪れる外国人観光客が増加している。

《事業目的（趣旨）》

○　ターゲット市場に対する WEB 広告の配信や、現地旅行社やメディアへの売込みによる露出拡大により、豊岡市の認知度を向上させる。外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」を効率的・効果的に運用することにより、外国人観光客に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。

1　事業内容

⑴　WEB 広告運用業務【4,869 円】
　外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の WEB 上での広告配信

⑵　観光レップ業務【6,770 千円】
　現地のセールスレップ（代理店：欧米豪、台湾）によるメディア等への売込み

⑶　訪日プロモーション地方連携事業【3,475 千円】
　海外旅行博への出展（オーストラリア）

⑷　欧米豪プロモーション事業【1,780 千円】
　欧米豪に対して観光レップ等と連携したメディア等へのセールスコール等の実施

⑸　アジアプロモーション業務【5,182 千円】
　東アジア・東南アジアに対して観光レップ等と連携したメディア等へのセールスコール等の実施

⑹　インバウンド地域連携事業【2,243 千円】
　せとうち DMO、海の京都 DMO 等と連携したプロモーションの実施

⑺　海外向け豊岡市総合サイト管理運営業務【106 千円】【新規】
　海外から豊岡市への入口となるグローバルサイトの管理運営

⑻　SDGs ツーリズム推進事業【406 千円】【新規】
　主に、台湾旅行会社に対する教育旅行を中心とし、SDGs ツーリズムのプロモーションを実施

⑼　豊岡市外国語版ホームページ管理運営業務【2,121 千円】
　本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の保守管理

⑽　豊岡市外国語版ホームページ運用委託事業【3,894 千円】
　本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の運用を豊岡観光イノベーションに委託

⑾　豊岡市外国語版ホームページコンテンツ制作業務【2,738 千円】
　豊岡の魅力を地域住民の目線で発信する内容を盛り込んだコンテンツの制作

⑿　インフォメーションカウンター運営委託業務【3,506 千円】
　城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）の活用による外国人観光客向けのインフォメーション機能強化及び着地型ツアーの販売促進
⒀　外国人スタッフ配置事業（JET プログラム）【3,784 千円】
　インバウンド関連業務にあたる CIR（国際交流員）の配置
⒁　インバウンド受入体制構築事業【1,344 千円】
　本市の歴史・文化・暮らしを外国語で伝えることのできるローカルガイドの養成

２　事業期間
2013 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
42,218 千円（ふるさと納税：39,000 千円）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
№26　事業名　豊岡演劇祭協同開催		2020 年度予算額	57,320　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》
○　豊岡演劇祭は、フリンジ型の演劇祭として５年でアジア№１、10 年で世界有数の演劇祭を目指して開催する。このことにより、豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。

１　事業内容
⑴　豊岡演劇祭の開催支援
ア　第１回豊岡演劇祭
(ｱ) 日程　2020 年９月（２週末）
(ｲ) 会場　城崎国際アートセンター、出石永楽館、江原河畔劇場、豊岡市民プラザ、豊岡市民会館　他
(ｳ) 演目　招待演目 10（最大）、フリンジ演目 10（最大）

⑵　豊岡演劇祭実行委員会の運営
　　総会及び部会の開催、事務局の運営

２　事業期間

2019 年度～

３　事業主体

豊岡市及び豊岡演劇祭実行委員会

４　予算額（補助率・負担率等）

57,320 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（企業版ふるさと納税：18,500 千円）
（ふるさと納税：8,000 千円）

青年団『東京ノート・インターナショナルバージョン』

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2020 年度予算額	7,762　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
27	コウノトリ育むお米ブランド化推進	7,762 千円	継続
重複	（No.34）アーティスト・イン・レジデンス	（15,775 千円）	継続
合　　計		7,762 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている			
No.27　事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進		2020 年度予算額	7,762　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　環境創造型農業により、農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

○　環境創造型農業の柱である「コウノトリ育むお米」の真のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1　事業内容

消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、ＪＡたじまと協働し国内外で情報発信等を展開する。

⑴　国内

既存取引先と協力し、販売プロモーション等を展開する。

⑵　海外

アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア、及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。

2　事業期間

2012 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

7,762 千円（ふるさと納税：7,000 千円）

国内：販売プロモーション(沖縄サンエー)

海外：日本食レストランエキスポ(アメリカ)

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2020 年度予算額	139,018　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
28	出石永楽館歌舞伎開催	79,495 千円	継続
29	芸術文化参与の設置	1,800 千円	継続
30	豊岡アートシーズン 2020	11,537 千円	継続
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン 2020 参加）	7,092 千円	継続
32	城崎国際アートセンター事業（豊岡アートシーズン 2020 参加）	3,657 千円	継続
33	城崎国際アートセンター運営（アートマネジメント等業務委託）	13,637 千円	継続
34	アーティスト・イン・レジデンス	15,775 千円	継続
35	芸術文化情報発信	1,729 千円	継続
36	アーティスト・クリエーター移住等促進	291 千円	継続
37	演劇のまちづくり推進	4,005 千円	新規
重複	（No.14）多文化共生推進	(2,961 千円)	拡大
重複	（No.26）豊岡演劇祭協同開催	(57,320 千円)	継続
重複	（No.38）専門職大学誘致	(19,255 千円)	継続
合計		139,018 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.28　事業名　出石永楽館歌舞伎開催		2020 年度 予算額	79,495　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　多くの歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。

○　わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

○　2008 年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を開催している。引き続き文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として『第 13 回永楽館歌舞伎』を開催する。

1　事業内容

⑴　公演期間（予定）2020 年 11 月 4 日（水）～10 日（火）　7 日間
⑵　公演回数　13 回公演
⑶　会　　場　豊岡市立出石永楽館
⑷　内　　容　片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演
⑸　料　　金　一般 12,000 円、学生 3,000 円（全席指定席）
※学生料金の対象者は、市内在住または通学する小・中学生、高校生。

2　事業期間

2008 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

79,495 千円
（ふるさと納税：22,000 千円）

担当課名【出石振興局　地域振興課】（内線 5607）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.29　事業名　芸術文化参与の設置			2020 年度 予算額	1,800　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている。

《事業目的（趣旨）》

○　平田オリザ氏は、2015 年度に「芸術文化政策の基本戦略」や「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略のアドバイザーとして芸術文化参与に就任。
　地方創生総合戦略等の一層の推進を図るため、引き続き本市の文化芸術分野における様々な指導助言を受ける。

1　事業内容

地方創生戦略等の推進

⑴　地方創生戦略会議
　芸術文化政策による地方創生の推進（政策調整課）
⑵　城崎国際アートセンターの芸術監督
　メイドイン豊岡による舞台芸術の発信（大交流課）
⑶　専門職大学設置への助言（大交流課）
⑷　アーティスト・クリエーター移住等促進の助言（大交流課）
⑸　文化芸術創造交流事業の推進
　Toyooka Art Season による文化芸術の魅力の発信（文化振興課）
⑹　コミュニケーション教育推進事業（こども教育課）

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

1,800 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【文化振興課】（内線 2771）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.30　事業名　豊岡アートシーズン 2020		2020 年度 予算額	11,537　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
○　世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》
○　「豊岡アートシーズン」という枠組みの元、市の文化施設や観光資源の特徴を活かした文化芸術事業を展開し、優れた文化芸術を鑑賞する目を持つ市民を育てる。
　また、事業を一体的に広報・PR することで「文化・芸術のまち　豊岡」のイメージを市内外へ発信する。

1　事業内容

演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2020（豊岡アートシーズン 2020)」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。

＜Toyooka Art Season 2020 の主要プログラム＞　※日程は変更の可能性あり。

⑴　文化振興課
ア　とよおかアート縁日（７月）
イ　青年団子ども参加型演劇『サンタクロース会議』学校公演（11 月下旬）

⑵　豊岡市民会館
ア　おでかけ訪問コンサート（５～６月、10～11 月）
イ　音楽レクチャー（４月～2021 年３月）

⑶　生涯学習課
ア　子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぷの祭典～（６月２日～７日）

⑷　豊岡市民プラザ
ア　劇の学校（７月、８月、11 月）
イ　大駱駝艦・田村一行舞踏公演（2021 年１月）
ウ　演劇プロジェクト　内藤裕敬と関西の俳優たち×市民演劇（８～９月）

⑸　大交流課（城崎国際アートセンター）
ア　森下真樹「ベートーヴェン交響曲第５番『運命』全楽章を踊る」（６月）
イ　ベイビーシアターミーティング 2020（８月）
ウ　日本相撲聞芸術作曲家協議会（JACSHA）オペラ双葉山「竹野の段」発表コンサート（10 月）

2　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

全体　34,666 千円（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

（内訳）

・文化振興課　　11,537 千円（ふるさと納税：5,000 千円）
・豊岡市民会館　　5,600 千円
　（市民会館自主事業）
・生涯学習課　　7,092 千円
　（No.31　子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催）
・豊岡市民プラザ　　6,780 千円
　（市民プラザ事業）
・城崎国際ｱｰﾄｾﾝﾀｰ　　3,657 千円
　（No.32　城崎国際アートセンター事業）

担当課名【文化振興課】（内線　2771）
【生涯学習課】（内線　2741）
【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31　事業名	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン 2020 参加）	2020 年度予算額	7,092　千円	新規 [継続] 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

○　子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てる。まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

１　事業内容

第７回おんぷの祭典を６月２日（火）～６月７日（日）の６日間、開催する。

出演者は、アンサンブル・ウィーン東京（弦楽四重奏）、碓井俊樹（ピアノ）、シュバシコウ・カルテット（弦楽四重奏）、こうのとり・クインテット（管楽五重奏）ほか。

⑴　子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ）
⑵　学校訪問コンサート　６小学校７公演
　　（豊岡（２公演）・八条・城崎・中竹野・八代・合橋）
⑶　街角コンサート　５カ所（城崎・竹野・日高・出石・但東）
⑷　稽古堂イブニングコンサート（豊岡稽古堂、５日間連続コンサート、有料）
⑸　サロンコンサート（西村屋ホテル招月庭、食事つきコンサート、有料）
⑹　グランドフェスティバル（豊岡市民会館、３部構成のコンサート）
　　（キッズコンサート、プレミアムコンサート、ファイナルコンサート）

※内容は変更になる可能性があります。

第６回おんぷの祭典　学校訪問コンサート 2019.06.04

２　事業期間
2014 年度～2023 年度

３　事業主体
子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

４　予算額（補助率・負担率等）
7,092 千円
（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.32　事業名	城崎国際アートセンター事業 （豊岡アートシーズン 2020 参加）	2020 年度 予算額	3,657　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　最先鋭の舞台芸術を楽しむため、市内外から多様な人が集い、まちが賑わっている。

《事業目的（趣旨）》
○　最先端の舞台芸術により芸術文化に親しんでいただく機会を提供することにより、市内外からの誘客を図り、関係人口を増やす。

１　事業内容
⑴　KIAC×おんぷの祭典共同企画　碓井俊樹×森下真樹「ベートーヴェン交響曲第５番『運命』全楽章を踊る」（６月）
2020 年に生誕 250 年の記念の年を迎えるベートーヴェンをテーマに開催される「おんぷの祭典 2020」を盛り上げるプレイベントとして、ダンサー・森下真樹に

よる「ベートーヴェン交響曲第５番『運命』全楽章を踊る」に、おんぷの祭典の音楽監督でピアニストの碓井俊樹がピアノソロで共演する。

⑵　ベイビーシアター・ショーイング（８月）

アジア（日本、中国、韓国、ベトナム、台湾ほか）のベイビーシアター関係者が集まり、アジアのベイビーシアターネットワークを形成する国際ミーティングを城崎国際アートセンターで開催する。その関連企画として、子育て総合センターで、豊岡の子育て世代を対象にしたショーイングを行う。

⑶　日本相撲聞芸術作曲家協議会（JACSHA）『オペラ双葉山「竹野の段」』（10 月）

日本各地に残る相撲文化についてのリサーチをもとに、独自の創作活動を展開する作曲家集団、日本相撲聞芸術作曲家協議会が豊岡市竹野に伝わる相撲甚句についてのリサーチや､竹野小学校金管バンドとのワークショップでの交流を経て、『オペラ双葉山「竹野の段」』を創作し、発表する。

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

3,657 円（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№33　事業名	城崎国際アートセンター運営 （アートマネジメント等業務委託）	2020 年度 予算額	13,637 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

○　城崎国際アートセンターを芸術文化の国際的戦略拠点として位置付け、運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、引き続き専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の充実を図っていく。

アーティスト・イン・レジデンス事業を始めとするさまざまな事業を効果的に展開し、市民に世界最先鋭のアートに触れる機会を提供することにより、豊岡で暮らすことの価値と魅力を創出する。

1　事業内容

アートマネージメント等業務を専門的知識を有する人材で構成する団体に委託する。

⑴　城崎国際アートセンター事業運営・芸術活動・地域との連携体制、情報発信等
⑵　滞在制作、年間計画作成、進行管理、公募事業の募集・選定等
⑶　滞在受入、広報内容の監修業務等

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

13,637 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№34　事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2020 年度予算額	15,775 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

○　選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

また、滞在中には、制作作品の試演会やワークショップ、トークショーなどの「地域交流プログラム」を無料で実施し、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。

1　事業内容

⑴　「アーティスト・イン・レジデンス　プログラム」募集・選考
⑵　「アーティスト・イン・レジデンス　プログラム」事業ＰＲ
⑶　舞台操作等レジデンス支援、地域交流プログラム実施
⑷　アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業の実施

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

15,775 千円（アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業　補助率：補助対象経費の 10/10）

（ふるさと納税：11,000 千円）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№35　事業名　芸術文化情報発信		2020 年度予算額	1,729　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

○　芸術文化による「豊かな暮らし」を実現するため、市民への情報提供の充実や、様々な階層で参加可能なプログラムの実施など、日々の生活の中で芸術文化に触れる機会を提供する。

１　事業内容

2015 年から運用しているウェブページのリニューアルを行うとともに、KIAC 通信を作成し、事業の周知と参加を呼びかける。

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

1,729 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.36　事業名	アーティスト・クリエーター移住等促進	2020 年度予算額	291 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

○　アーティスト・クリエーターの移住等により、①多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり、②優れた文化芸術を創造し、人々が楽しむまちづくり、③センスのいいまちづくりを促し、「小さな世界都市－Local & Global City－」の実現に資する。

１　事業内容

劇団員が、豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供及び相談を受ける機会を設ける。

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

291 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№37　事業名　演劇のまちづくり推進			2020 年度 予算額	4,005　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　企業等との共創による持続可能なまちづくりが行われている。

《事業目的（趣旨）》

○　演劇祭を通じて様々なステークホルダーを呼び込み、地域内外の企業等との共創によるまちづくりを積極的に実施し、「人を幸せにするスマートコミュニティ」の構築を目指す。

1　事業内容

文化芸術やまちづくり等の分野において豊富な専門知識やノウハウを有する事業者に次の業務を委託し、連携しながら事業を進める。

⑴　企業等との共創によるまちづくりの推進

ア　企業連携施策の具体化、実施のための制度や体制の整備

イ　企業等の演劇祭やまちづくりへの参画促進

ウ　演劇祭における企業等との実証事業の実施及びまちづくりへの反映

⑵　企業版ふるさと納税の獲得推進

ア　企業等による演劇のまちづくりへの支援を促すための説明資料作成

イ　企業等への働きかけ

2　事業期間

2020 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

4,005 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：1,000 千円）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2020 年度予算額	19,255　千円

【対象事業】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
38	専門職大学誘致	19,255 千円	継続
重複	（№26）豊岡演劇祭協同開催	(57,320 千円)	継続
重複	（№42）高校生コミュニケーション教育等支援	(8,716 千円)	継続
重複	（№44）英語教育推進	(38,917 千円)	継続
合計		19,255 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
№38　事業名　専門職大学誘致		2020 年度予算額	19,255　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　但馬地域の強みを生かし、全国や海外からも学生が呼び込める４年制の高等教育機関である専門職大学が設置されている。

《事業目的（趣旨）》

○　人口減少が著しい但馬地域において、地元産業界からニーズのある観光分野等における専門人材を育成する高等教育機関として専門職大学を誘致し、地域の若者の定住のみならず、全国や海外から若者を呼び込み定着を図る。

１　事業内容

⑴　専門職大学設置に向けた兵庫県との連携
⑵　兵庫県との共催によるプレ事業の開催
⑶　専門職大学との地域連携構築に向けた検討

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

19,255 千円

⑴　専門職大学開設準備負担金（兵庫県との連携）　14,500 千円

⑵　アドバイザー謝礼、事務的経費等　4,755 千円

（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：10,000 千円）

本館イメージ（認可申請中）

学生寮イメージ（認可申請中）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	2020 年度予算額	13,116　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
39	ふるさと教育推進	3,716 千円	継続
40	子どもの野生復帰	9,000 千円	継続
41	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
重複	（№42）高校生コミュニケーション教育等支援	(8,716 千円)	継続
合計		13,116 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05 - 01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
№39　事業名　ふるさと教育推進		2020 年度予算額	3,716　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

○　一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル＆グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1　事業内容

⑴　現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。

⑵　教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、ＤＶＤ「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

⑶　但東中学校３年生が、修学旅行で東京交通会館において、豊岡市や但東町についてＰＲする。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

3,716 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：1,000 千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05－01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
№40　事業名　**子どもの野生復帰**		2020 年度 予算額	9,000　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

○　自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学ぶ、豊岡のフィールドでの野外体験プログラムを実施し、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

１　事業内容

「キッズワイルド 2020」の実施

⑴　実施プログラム内容

ア　周年型体験プログラム（四季型の通年体験）

イ　単発型体験プログラム（短期集中型の体験）

⑵　対　　象

市内の小学生、中学生、高校生

⑶　実施期間

2020 年５月から 2021 年３月まで

２　事業期間

2020 年度

3　事業主体

豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

9,000 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：5,000 千円）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
№41　事業名	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	2020 年度予算額	400　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元に誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

○　子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、同行の保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となり得ることに対する市民の理解を促進する。

1　事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとろっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助を行う。

「おっとろっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

⑴　子ども向けのものづくり体験教室
⑵　市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示
⑶　ものづくりへの興味を持つような特別展示等を含むイベントの開催

2　事業期間

2014 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
400 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2020 年度予算額	8,716　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
42	高校生コミュニケーション教育等支援	8,716 千円	拡大
重複	（№39）ふるさと教育推進	（3,716 千円）	継続
合計		8,716 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている			
№42　事業名	高校生コミュニケーション教育等支援		2020 年度予算額	8,716　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡が好きになり、地域をより良くしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　学校内での活動において、豊岡市の演劇を用いたまちづくりや地域資源について知る機会を創出し、豊岡の可能性に気付いてもらう。

　また、学校外においても地域住民と関わりながら地域を活性化する企画に携わることで、当事者意識やシビックプライドを醸成する。

1　事業内容

⑴　学校内での活動支援

ア　コミュニケーション教育【新規】

　小中学校で実施している演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を、高校生を対象として実施する。市内全高校（８校）で実施予定。

イ　ダンスを通じた地域探究活動【拡大】

　地域探求により感じたことをダンスで表現する。近畿大学附属豊岡高校、大岡学園で実施予定。

ウ　仕事や企業の探求活動

　仕事紹介イベントや企業見学を行う。豊岡総合高校、出石高校で実施予定。

エ　課題解決型地域探求活動

　地域課題解決に向けた総合学習「未来からの挑戦状」を豊岡高校で実施予定。

⑵　学校外での活動支援

ア　音楽を通じた地域活性化事業【新規】

ミュージシャン・イン・レジデンスの発展事業。高校生がプロデューサーとなり、ミュージシャンの協力を得て豊岡の魅力が詰まった動画コンテンツを作成する。プロのサポートを得ながら、音楽という素材を通じて自分の手で地域を発信する。

イ　高校生によるまちづくり活動促進【新規】

(ｱ)　菓子祭前日祭の高校生企画の実施

第 10 回菓子祭前日祭において、高校生の主体的な活動による企画を実施する。

(ｲ)　高校生キャリア塾等の活動支援

但馬夢テーブル委員会（事務局：兵庫県但馬県民局）が高校生を対象にしたキャリア塾を開催。これからの社会が求める力や知識の習得を目的としてセミナーやワークショップ等を定期的に実施（2019 年度は 7 回実施）。

2020 年度は上記のうち 1 回を共催事業と位置づけ、他地域の高校生が実施しているまちづくり事例等を学び、当事者意識を高め、まちづくりへの参画を促す。

２　事業期間

2017 年度～2020 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

8,716 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：4,000 千円）

高校生のコミュニケーション教育（イメージ）
（東京都内公立高校での実施風景）

ダンスを通じた地域探求活動
（2019 年度近大豊岡校の高校生が永楽館歌舞伎について学び、後日ダンスで表現）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手　段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2020 年度予算額	49,516　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
43	コミュニケーション教育推進	693 千円	継続
44	英語教育推進	38,917 千円	継続
45	豊岡の未来を創る高校生支援	2,660 千円	継続
46	非認知能力向上対策	2,578 千円	継続
47	英語遊び保育推進	4,668 千円	継続
合計		49,516 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№43　事業名　コミュニケーション教育推進		2020 年度予算額	693　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

○　国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Ｉターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1　事業内容

⑴　すべての小学校６年生と中学校１年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。

⑵　すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。
　また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

２　事業期間
2015 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
693 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№44　事業名　英語教育推進		2020 年度予算額	38,917　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》
○　豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校１年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと９年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語る力を高める。

１　事業内容
⑴　豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
⑵　2020 年度より小学校では新学習指導要領が完全実施され、小学校５、６年生は新たに英語が教科になる。そのことによる英語授業数の増加に対応した外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置を行う。
⑶　すべての小学校で外国語指導助手（ＡＬＴ）とのティーム・ティーチングを実施し、ネイティブな英語に触れさせ、担任と連携した授業等を行う。
⑷　豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
⑸　豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会を実施する。
　ア　「英語教育推進リーダー中央研修」に係る地区別研修

イ　大学と連携した英語指導力向上事業
ウ　豊岡市英語教育研修会
⑹　イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学校３年生）を実施する。

２　事業期間
2016 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
38,917 千円
⑴　外国語指導助手派遣業務　19,763 円
⑵　上記⑴以外　19,154 円
（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）
（ふるさと納税：26,000 千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№45　事業名　豊岡の未来を創る高校生支援		2020 年度予算額	2,660　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　小中一貫教育における「ローカル＆グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材の育成が育っている。

《事業目的（趣旨）》
○　３週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通した実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通したコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

１　事業内容
豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル＆グローバル学習の時間」の取組（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル＆グローバル学習に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

２　事業期間
2017 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）
2,660 千円（ふるさと納税：2,350 千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№46　事業名　非認知能力向上対策		2020 年度予算額	2,578　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》
○　豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことをめざす。

１　事業内容
⑴　非認知能力向上のための演劇ワークショップのプログラムの開発と試行
ア　モデル校２校おいて、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校１年生～３年生に演劇ワークショップを試行的に実施する。
イ　指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。
⑵　演劇ワークショップの効果測定の実施
ア　モデル校２校において演劇ワークショップによる非認知能力向上への効果測定を実施する。
イ　効果測定は、青山学院大学の苅宿俊文教授の研究チームへの受託研究で実施する。

２　事業期間
2019 年度～

３　事業主体
豊岡市

4　予算額（補助率・負担率等）

2,578 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）

※ガバメントクラウドファンディングの活用を検討予定（目標金額 1,000 千円）

モデル校での演劇ワークショップの様子(2020.1.14)

担当課名【こども教育課】（内線　2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№47　事業名　英語遊び保育推進			2020 年度 予算額	4,668　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

〇　外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている

○　喜んで人と関わろうとする子が増えている

○　自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

○　将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1　事業内容

⑴　英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア　実施対象　　市内全幼稚園・保育園・認定こども園の４・５歳児クラス
（但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く。）

イ　実施回数　　年間 15 回程度
（２週間に１回程度）

ウ　時　　間　　５歳児・40 分、４歳児・30 分

エ　指 導 者　　英語遊び指導員　８名

⑵　英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
⑶　英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。

２　事業期間

2015～2016 年度　６モデル園で先行実施
2017 年度～　　市内の公・私立園に展開実施

３　事業主体

豊岡市

４　予算額（補助率・負担率等）

4,668 千円（ふるさと納税：4,000 千円）

英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2020 年度予算額	480　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
48	民間団体への婚活イベント補助	480 千円	継続
合計		480 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている		
№48　事業名　民間団体への婚活イベント補助			2020 年度予算額	480 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（民間団体による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　民間団体が主催する婚活・恋活イベントへの補助制度によってイベント開催を促進し、独身男女の多様な出会い機会を創出する。

1　事業内容

2016 年度に制定した「出会い機会創出事業補助金」により、民間団体主催の婚活イベントに補助し、民間活力による出会い機会の創出を促進する。

⑴　対象者　　市内の団体、実行委員会等

⑵　対象経費　開催に必要な経費（飲食費、人件費等を除く）

※2019 年度

２件実施、延べ 35 名参加、成立カップル７組

※2016 年度からの累計

20 件実施、延べ 450 名参加、成立カップル 93 組

2　事業期間

2014 年度～

3　事業主体

婚活・恋活イベントを実施する団体

4　予算額（補助率・負担率等）

480 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

奈佐コミュニティが実施した
婚活イベントのチラシ(2019 年)

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	2020 年度予算額	4,241　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
49	出会い機会創出 （恋するお見合い）	814　千円	継続
50	出会い機会創出 （はーとピー）	3,427　千円	継続
重複	（№48）民間団体への婚活イベント補助	（480　千円　）	継続
合計		4,241　千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
№49　事業名	出会い機会創出 （恋するお見合い）	2020 年度予算額	814 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

○　2019 年度試験的に行ったお見合いイベントを、2020 年度も実施することにより、成婚数を増加させる。

1　事業内容

女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いをする。

⑴　「恋するお見合い」事業の流れ

ア　男女各 36 人を募集

イ　１週目に男性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。

ウ　２週目に女性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。
女性は男性プロフィールを見て、お見合いしたい相手を選ぶ。

エ　女性の希望をもとにお見合いの組み合わせを決め、後日、縁むすびさんの立ち合いによりお見合い。

⑵　開催回数　　２回
（６月と 10 月を予定）

⑶　開催場所　　市役所 立野庁舎内

※2019 年度の実績（１回開催）

○参加人数　　男性　47 人

女性　30 人

合計　77 人

○お見合い実施数　　32 組

○“交際”発展組数　21 組

2　事業期間

2020 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

814 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.50　事業名	出会い機会創出（はーとピー）	2020 年度予算額	3,427 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　「はーとピー」で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

○　婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を促進する。

1　事業内容

市の補助により 2013 年度から社会福祉協議会で実施し、2019 年度から市主催として実施していた婚活応援プロジェクト「はーとピー」を、2020 年度も継続して実施する。

また、2019 年度からは市に専任の結婚支援員を置いている。希望者に細やかなアフターフォローを行い、成婚数の増加を図る。

⑴　婚活イベント予定開催回数　年間 12 回

⑵　結婚支援員が行うアフターフォロー

ア　イベントカップルの交際フォロー、相談業務

イ　「縁むすびさん」と連携したお見合い

※2019 年度（１月時点）：８回開催、参加者 210 人、47 カップル成立
※2013～2019 年度累計：80 回開催、参加者 2,048 人、317 カップル成立
成婚（報告があったもののみ）35 組

２　事業期間
2013 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
3,427 千円（ひょうご地域創生交付金
補助率：交付対象額の 1/2）

市内のカフェで行われた婚活イベント

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2020 年度予算額	2,488　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
51	ボランティア仲人養成	923　千円	継続
52	結婚相談所機能拡充	801　千円	継続
53	結婚・女性活躍推進調査	764　千円	継続
重複	（№50）出会い機会創出（はーとピー）	（3,427　千円　）	継続
合計		2,488　千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
№51　事業名　ボランティア仲人養成		2020 年度予算額	923 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（市民による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1　事業内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

⑴　「縁むすびさん」登録後の活動の流れ

⑵　「縁むすびさん」への主な支援
　ア　登録時に「登録セミナー」を開催
　イ　研修と情報交換を行う「縁結び会議」を毎月開催
　ウ　会報「縁結だより」の発行による啓発
　エ　報奨金の支給（成婚１組につき３万円）
※事業開始（2017 年７月）から 2020 年１月までの実績
　①　縁むすびさん　　149 人（男性 48 人、女性 101 人）
　②　登録結婚希望者　　248 人（男性 149 人、女性 99 人）
　③　引き会わせ数　　延べ 244 回
　④　成婚実績　　３組

縁むすびさん
ロゴマーク

月に一度の「縁結び会議」

２　事業期間
2017 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
923 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.52　事業名　結婚相談所機能拡充			2020 年度予算額	801 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　結婚相談所による成婚数が増加している。
　（公的団体（社会福祉協議会）による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》
○　社会福祉協議会が実施する結婚相談所（Hapimari）事業費の一部に補助し、活動を活性化することにより結婚を促進する。

１　事業内容
社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員のモチベーションを維持・向上するため、2017 年度から行っている成婚報奨金の経費を補助する。
また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。
⑴　成婚報奨金（成婚１組３万円）
⑵　研修費（先進地視察研修等）

※2020 年１月時点　成婚数６組

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市社会福祉協議会

４　予算額（補助率・負担率等）

801 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

社会福祉協議会　結婚相談所（Hapimari）ＨＰ

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.53　事業名　結婚・女性活躍推進調査			2020 年度予算額	764 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

○　子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　結婚支援事業、女性活躍（子育て応援）事業を推進するための調査・研究を行う。

１　事業内容

⑴　ハートリーフ協議会の開催

市が行う婚活事業をより効果的に展開するため、「若者の動向に詳しい者」や「市内に在住する若者」の意見を聞き、市民と行政とで共に考える。

⑵　研修旅費
　　全国結婚支援セミナーへの出席、先進団体調査など

２　事業期間
2016 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
764 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

まちをあげて
結婚を支援する
ロゴマーク

まちをあげて
子育てを応援する
ロゴマーク

担当課名【健康増進課】（内線 3101）